

# 国際政治

210

## 岐路に立つアフリカ

日本国際政治学会編

序章 二一世紀アフリカにおける国家と国際関係	杉木 明子
リベリアにおける「マンディンゴ問題」の史的変容	落合 雄彦
紛争を再生産する国家、植民地化の遺産、新植民地主義	戸田 真紀子
岐路に立つ南スーダン共和国	山田 真弓
アフリカにおける政治体制変動の評価をめぐって	遠藤 貢
国際刑事裁判所による司法介入とケニアの司法制度改革	藤井 広重
紛争再発と和平合意	小林 綾子
文民の保護における限界と無限	上野 友也
中国アフリカ関係の新展開	渡辺 紫乃
日本における反アパルトヘイト国際連帯運動	牧野 久美子
<hr/>	
中曽根政権期の対北朝鮮外交に関する研究	崔 智喜
<hr/>	
<書評論文>	
難民・移民に対する国際的な協力体制の再興に向けて	中山 裕美
<hr/>	
<書評>	
小笠原欣幸著 『台湾総統選挙』	家永 真幸
マシュー・ロンゴ著、庄司克宏監訳 『国境の思想』	須田 祐子

2023年3月刊